

課題名	個別化がん予防ワクチンと個別化 T 細胞療法の開発
研究代表者と所属	中面哲也 免疫療法開発分野
共同研究者と所属	

	Novelty	Speed	Capacity	Versatility	Cost	Human sample
Evaluation methods & systems	◎			○		○
Novel original cell lines						
New target identification						
Platform technologies	◎			○		○
Compounds, Antibody, etc						

Strongest point=◎ Strong point=○ Weak point=×

対象疾患	肝細胞がん、大腸がん、肺がん、乳がん、膵がん、膀胱がんなど
アセットの概要	これまでに、glypican-3 や HSP105 といったオリジナルのがん共通抗原由来ペプチドワクチンの様々な臨床試験を実施してきた経験を活かし、ネオアンチゲンを標的とした個別化がん免疫療法（がんワクチンと T 細胞療法）の開発を本格化している。ネオアンチゲンの同定法、癌組織腫瘍浸潤 T 細胞の培養技術と解析方法、癌組織からの PDX 作製、1 細胞レベルにおける T 細胞受容体解析などに習熟しており、近い将来の個別化 T 細胞療法の具現化を目指している。
関連する研究費（申請中を含む）	AMED 次世代がん など
論文、特許、共同研究、grant	Cancer Sci. 109:531-41, 2018 など nakatsura t で検索